

第119回銀行業務検定試験「法務3級」「財務3級」団体優秀賞受賞

京葉銀行
研修制度は絶えず試行錯誤

今回は、2011年6月5日に実施いたしました第119回銀行業務検定試験「法務3級」「財務3級」において、団体優秀賞を受賞されました京葉銀行へお伺いしました。

京葉銀行は、千葉県内に119カ所の店舗網を展開する地元密着型の金融機関です。多くの地方銀行が県外への積極展開を行っている昨今において、活動基盤を千葉県に特化し、地域経済活性化のために貢献できる金融機関を目指しています。

行員数約2,000名、預金量約3兆3,000億円、貸出量約2兆4,000億円で、預金量・貸出量ともに伸びている状況で健全性・収益性の高い経営を続けています。今回、快く取材に応じてくださったのは、人事部人事グループ次長の白石欣央(よしお)さんと係長の庄子純子さんです。

●資格取得機運の向上

京葉銀行ではここ数年、資格試験の受験者が大幅に増加し、合格者もそれに伴い増加したとのこと。若手行員を中心に、業務知識・専門知識を習得し、実務に活かすという理由から、資格取得の機運が高まっているそうです。この風潮を壊さないよう、今後は合格率のアップに尽力したいとお話されていました。

●単位取得規定の改定

資格試験の受験者増加のきっかけとなったのは、平成21年10月に単位取得規定を改定したことが大きな要因です。この改定により、初級行員から代理職までの各職位における取得すべき必須項目・ポイント数に変更になり、早期に不足科目を取得する行員が増加しました。業務によっては一定以上の単位をとらないと従事できないものがあるほか、昇給・昇格にも影響するとのこと。

銀行業務検定試験の法務・財務・税務の各3級は、原則、全行員の取得必須種目となっています。一般行員の場合、ほとんどの方が、入行3～5年で取得しています。また、同3種目の2級は、代理職以上の役席者であれば、1種目以上の取得が義務付けられています。

そのほかに制度の対象となっている資格としては、日本コンプライアンス・オフィサー協会の金融コンプライアンス・オフィサー2級や金融個人情報保護オフィサー2級、証券外務員、FP技能士2級、生保・損保販売資格があり、さらに上級資格として、中小企業診断士、社会保険労務士、CFP、FP技能士1級などが対象とされています。

「単位取得規定が改定されたことで、必要知識習得の動機付けができ、資格取得に対する意識が行員に根付いた」と白石さん、庄子さんともに成果を感じとっていらっしゃいました。

●より効率的な研修制度

資格取得を推奨しているだけでなく、そのための研修制度の確立にも力を入れています。その1つがホリデー研修です。平日は業務多忙により学習する機会が得られない行員のために開かれるもので、銀行業務検定試験のほか、証券外務員等の資格を中心に現在6系統11種目あります。多くは、販売に直結する資格の早期取得を目指しているものです。

また、通信講座による知識向上にも力を入れています。推奨通信講座は63講座で、修了することで受講料を銀行が負担しています。

「人事部にとって、研修制度・体系の在り方は、より効率的で実践的な内容とするために絶えず試行錯誤を行っている課題」(白石氏)だそうです。

●Eラーニングの活用

京葉銀行では、いち早くEラーニングシステムの活用による学習も導入しています。現在学習できる分野は「預金」「融資判断」「債権管理」「金融商品」等の銀行業務に直結する14分野で、コンテンツは銀行内部で作成したオリジナルだそうです。文章による説明に加え、伝票や書類関係の業務の流れを音声や動画によりわかりやすく解説しており、行員の自主学習に大変役立っているとのこと。

Eラーニングのメリットは、時間的制約を受けないことです。都合さえつければ、就業時間中でも使うことができますが、土曜日なども研修所で自由に学習することができるとのこと。今後は、自宅での学習も可能になるよう、システムを更改し、行員のスキルアップ・資格取得をサポートする主力研修と位置付けたいとお話されていました。

●キャリアプランシートによる面談

京葉銀行では、初級行員から代理職まで各自「キャリアプランシート」を作成しています。これは、自分のレベル判定を確認するために作成するもので、①保有資格、②人事考課、③これまでの仕事内容の3つで構成されています。

このシートによる現状認識をもとに、上席との面談を定期的に行い、今後のキャリアビジョンを描いていくとのこと。たとえば、これまでは預金業務を中心に行ってきたが、これからは融資分野を学習し従事していきたいなどのように、自分のキャリアとしての将来の希望を聞く機会をもつ場となっているとのこと。

●女性行員の活躍の場を拓ける

従来、女性行員は預金業務を中心とした職務に従事することが多かったのですが、現在、住宅ローンを中心とした融資業務にも活動の場を拓けているとのこと。

そのための研修として、住宅ローンの業務知識向上を目的とした「住-Naviアドバイザー」集合研修を行っています。また、女性役席者のための融資業務研修などを行い、活躍の場を拓けるための能力研修・モチベーション向上を支援しているとのこと。

●「人財」育成への取組み

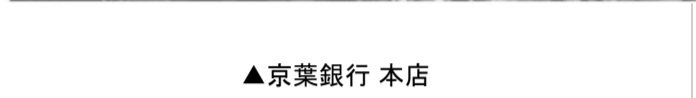
京葉銀行では、今年4月より第15次中期経営計画「α ACTION PLAN2013」をスタートさせています。そこでは3つの経営課題として、「地域の実体経済への貢献」「強固な経営基盤の構築」「揺るぎない収益基盤の確立」に取り組み、「お客様に信頼と利便性、高い満足度を提供する魅力のある、活力あふれる銀行」を目指すとしています。

「その実践のため、今後も、付加価値を創造できる『人財』育成への取組みを続けていきたい」と白石さん、庄子さんは意を新たにされていました。

(お忙しいなか、取材に真摯にご対応くださいました白石さん、庄子さんに心より感謝申し上げます)



▲京葉銀行 本店



▲人事部 白石欣央氏 庄子純子氏